



I 会の目的と総会について

本会は、奉仕の精神に基づき、鳥取県立倉吉養護学校の理解と振興を図り、広く障がいのある児童生徒の福祉の増進に努めることを目的として設立しました。以前は総会を開催し、事業や予算を決定していましたが、コロナ禍になってからは新型コロナウイルス感染症予防のため、書面審議としております。

II 主な事業の紹介

I 行事を通じての交流推進

① 5月21日（土）に創立50周年記念「倉養大運動会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、校庭と体育館を会場に学部やグループで入れ替わりながら、競技や演技を行い、保護者にも応援していただきました。

② 10月8日（土）に「くらよう祭」を開催しました。今年度も新型コロナウイルスへの感染予防対策として、来場者を保護者のみに制限し、内容も子どもたちが、日頃学んだことの発表と作業製品販売のみとしました。各グループが日頃の学習の成果をしっかりと保護者の皆様に見ていただくことができました。

③ 例年2月に実施しておりました「くらようショップ」ですが、新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、今年度は「くらようアンテナショップ」として、2月18日（土）に打吹回廊にて、職員が中心となり販売する形で開催しました。150名もの方が来場いただき、多くの方に倉吉養護学校のことや生徒の学習などについて関心を持っていただく良い機会となりました。



2 交流学习の推進及び体験学習・体験入学

本年度は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、学校間交流は3校と間接交流という形で、作品交流等を行いました。また、居住地校交流は、小学部18名、中学部9名の児童生徒が行いました。

また、外部の学校から本校への体験学習は小学部18名（20回）、中学部7名（7回）、体験入学は高等部6名（6回）が行いました。

3 部活動の支援

今年度の部活動は、作年度に引き続き、卓球部、バドミントン部、ダンス部、カルチャークラブの4つの部活動での取り組みとなりました。今年度もコロナ禍での活動ということで、状況に応じて活動を中止しなくてはならない時期があったため、10回でしたが活動を実施することができました。活動場所や道具の消毒をはじめ、換気や間隔をとっての活動など、感染予防対策をしっかりと行ったうえでの活動でしたが、生徒達は、生き生きとした表情でとても楽しく活動する様子が見えました。学部を超えて生徒同士、また他学部の先生との関わりも楽しんでいた様子もあり、部活動のよさを知ることとなりました。



ダンス部 衣装を着て踊りました。



カルチャークラブ
iPad のアプリを使っ
たコラージュ写真

4 進路保障の充実

- ① 中学部は11月に、高等部は6月と10月に産業現場等における実習を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を取り、障害福祉サービス事業所や一般企業へ校外実習にも出かけました。卒業後の就労や生活を体験する貴重な機会となりました。
- ② 本校HPで中部地区にある障害福祉サービス事業所の紹介動画を公開しました。昨年度より多くの方にご視聴いただき「将来の姿を想像できてよかった。」「どんな施設でどんなことをしているのか参考になった。」「動画視聴を通じて家庭で将来の進路や生活について話す機会をもった。」等のご意見をいただきました。この動画は実習先の検討や学習にも活用していただきました。
- ③ キャリア教育だよりで、以下のことについて紹介しました。また、早い段階から、将来について知ったり、考えたりすることの大切さをお伝えし、事業所紹介動画の視聴や家庭内での話し合いについて呼びかけました。



- キャリア教育に関わる学校の取組（中学部産業現場等における実習、特別支援学校技能検定等、先輩に学ぶ等）
- 家庭での取組（本校PTA研修部員の方が卒業後を見据えて今から取り組んでいること）
- 障害福祉サービス事業所（就労継続支援A型・B型、生活介護）

- ### 5 会員募集
- 本年度の会員数は延べ177名で、会費合計は195,000円でした。

ご協力ありがとうございました。